



資料 1

2024年 7 月22日

日本学術会議第26期アクションプランの 取組状況について

日本学術会議副会長 日比谷潤子

日本学術会議第26期アクションプランの取組状況について

- 日本学術会議のより良い役割発揮に向けて、特に今期に重点的に進めていく事項
- 幹事会構成員のほか、産業界、若手アカデミー、広報委員会などの会員・連携会員を加えた「第26期アクションプラン企画WG」(企画WG)を中心に、委員会・分科会等と協働して取り組む

1. タイムリー、スピーディな意思の表出と助言機能の強化
2. 学術の発展のための各種学術関係機関との密接なコミュニケーションとハブとしての活動強化
3. ナショナルアカデミーとしての国際的プレゼンスの向上
4. 産業界、NGO/NPOをはじめとする多様な団体、国民とのコミュニケーションの促進
5. 学術を核とした地方活性化の促進
6. 情報発信機能の強化
7. 事務局機能の拡充を含む企画・執行体制の強化

1. タイムリー、スピーディな意思の表出と助言機能の強化

(具体的な取組)

✓課題解決型の助言機能強化

⇒速やかな意思の表出に向けて取り組む課題(次ページ)

✓査読プロセスの改革による迅速化・見える化

✓システムの活用を含む発出した提言等の確実なフォローアップ及び横展開

<タイムリー、スピーディな意思の表出と助言機能の強化>

➤ 意思の表出に向けて準備中の取組

科学技術・イノベーション基本計画

科学者委員会 学術体制分科会

- 第7期科学技術・イノベーション基本計画に向けての提言（仮題） 2024年9～10月予定

食品制度

食料科学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・健康・生活科学委員会関係分科会合同※

- 国民の健康維持・増進に資する食品制度に関する提案（仮題） 2024年10月頃予定

※食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会、食料科学委員会・基礎医学委員会合同獣医学分科会、食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会、薬学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会合同毒性学分科会、健康・生活科学委員会パブリックヘルス科学分科会

生成AI

情報学委員会

- 生成AIを受容・活用する社会の実現に向けて（仮題） 2024年11月頃予定

量子技術

情報学委員会

- 量子未来社会の健全な発展へ向けた課題と展望（仮題） 2024年11月頃予定

カーボンニュートラル

循環経済と自然再興を活かした炭素中立社会への移行に関する検討委員会

- 「2050年カーボンニュートラル」の実現という喫緊の課題に対応するため、循環型で自然資本を持続可能に活用する社会を目指すという視点に基づき、循環経済（サーキュラーエコノミー）及び自然再興（ネイチャーポジティブ）との関係性や必要な施策等の諸課題を明らかにする。

（意思の表出の名称等は未定） 2025年夏頃予定

➤ その他の取組

防災・減災

防災減災学術連携委員会

- 公開シンポジウム「令和6年能登半島地震3ヶ月報告会」及び「人口減少社会と防災減災」を開催（3/25）

2. 学術の発展のための各種学術関係機関との密接なコミュニケーションとハブとしての活動強化

(具体的な取組)

- ✓「未来の学術振興構想」の浸透・議論のためのフォーラムの開催及び学術研究振興分科会における更なる検討⇒学術フォーラムを開催予定(2024年10月4日)
- ✓研究力強化に向けた検討の推進

3. ナショナルアカデミーとしての国際的プレゼンスの向上

(具体的な取組)

- ✓国際アドバイザリーボードの開催 ⇒開催に向けて海外アカデミー等と調整中
- ✓世界のリーディングアカデミーとの連携、アジア学術会議を軸としたアジア地域におけるリーダーシップの発揮
- ✓主要国若手アカデミー間の国際連携活動等を通じた次世代育成

4. 産業界、NGO/NPOをはじめとする多様な団体、国民とのコミュニケーションの促進 (具体的な取組)

- ✓ 産業界に所属する会員と企画WGの意見交換を実施予定
- ✓ 産業界からの会員・連携会員を核とした産業界との対話の促進
⇒ COCNとの意見交換の実施に向けて調整中
- ✓ これまでの知見・経験も生かした国民の科学リテラシー向上への貢献

5. 学術を核とした地方活性化の促進 (具体的な取組)

- ✓ 地方学術会議等を活用した地方活性化に関する取組の検討

6. 情報発信機能の強化

(具体的な取組)

✓国民・社会を意識したウェブページの充実

⇒会長メッセージ動画の掲載に向けて準備中等

⇒日本学術会議ウェブサイトからの発信強化

(編集・確認の体制導入による発信の迅速化)

✓若年層への情報発信に向けた検討

7. 事務局機能の拡充を含む企画・執行体制の強化

(具体的な取組)

✓企画WGによるアクションプランの検討体制の強化

✓アクションプランを踏まえた事務局体制の強化の検討